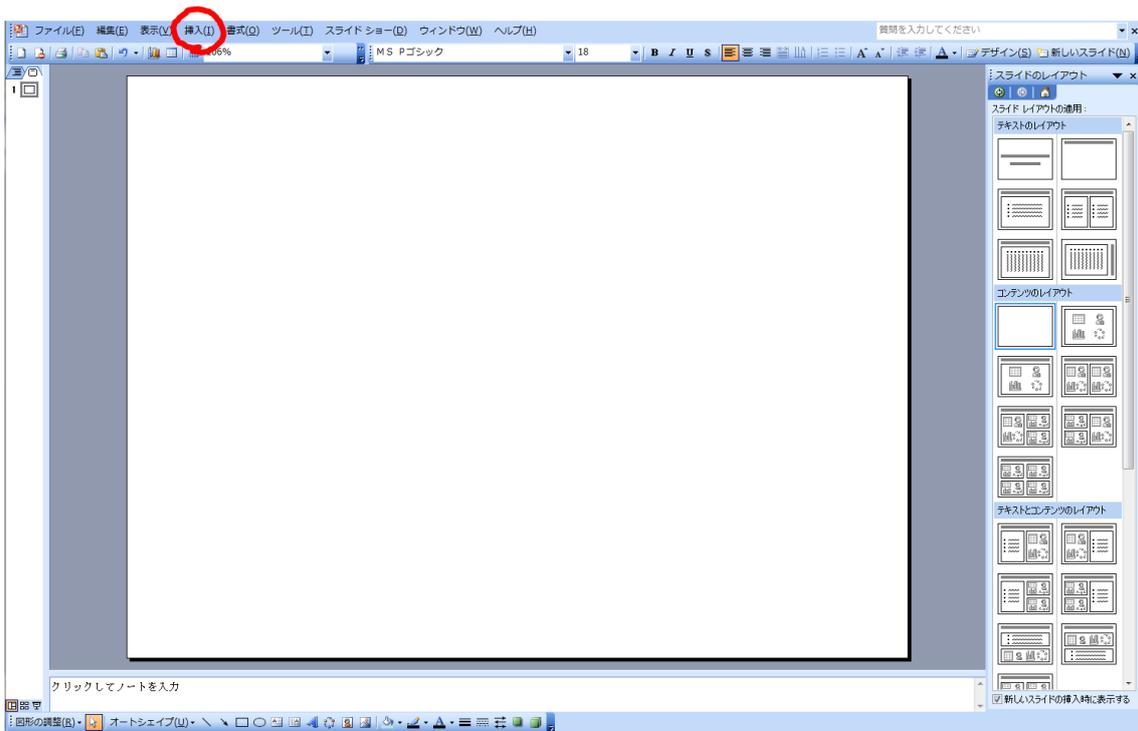


画像の貼り付け方と注意

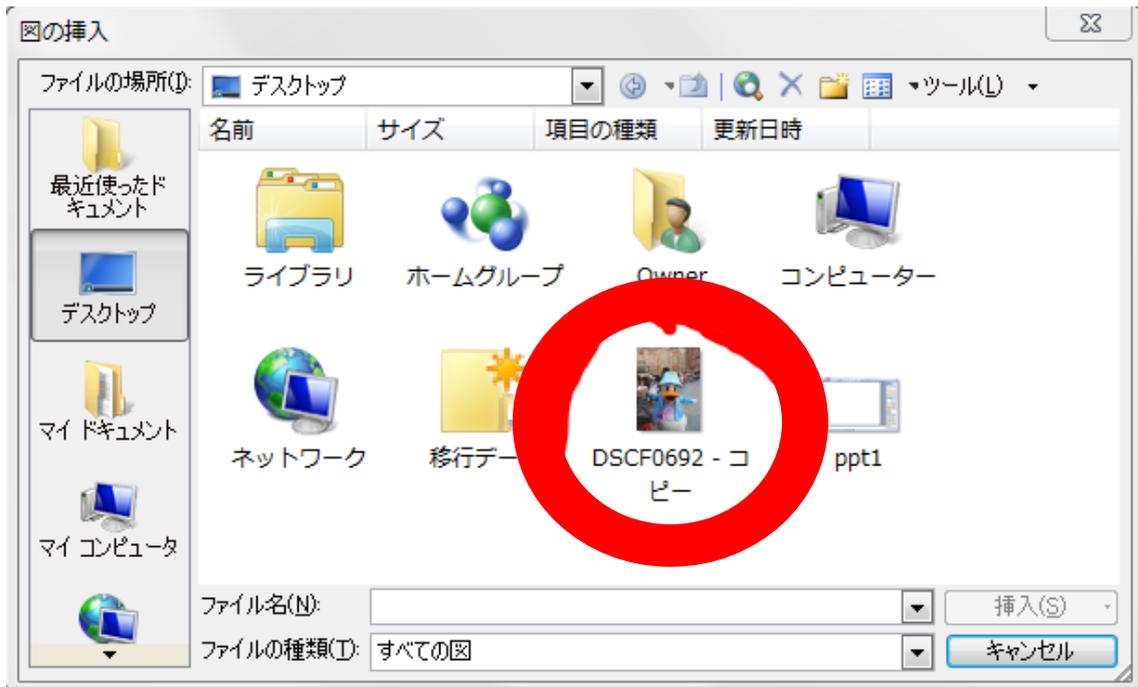
1) 画像の貼り付け方

まず、画像の貼り付け方について紹介させていただきます。

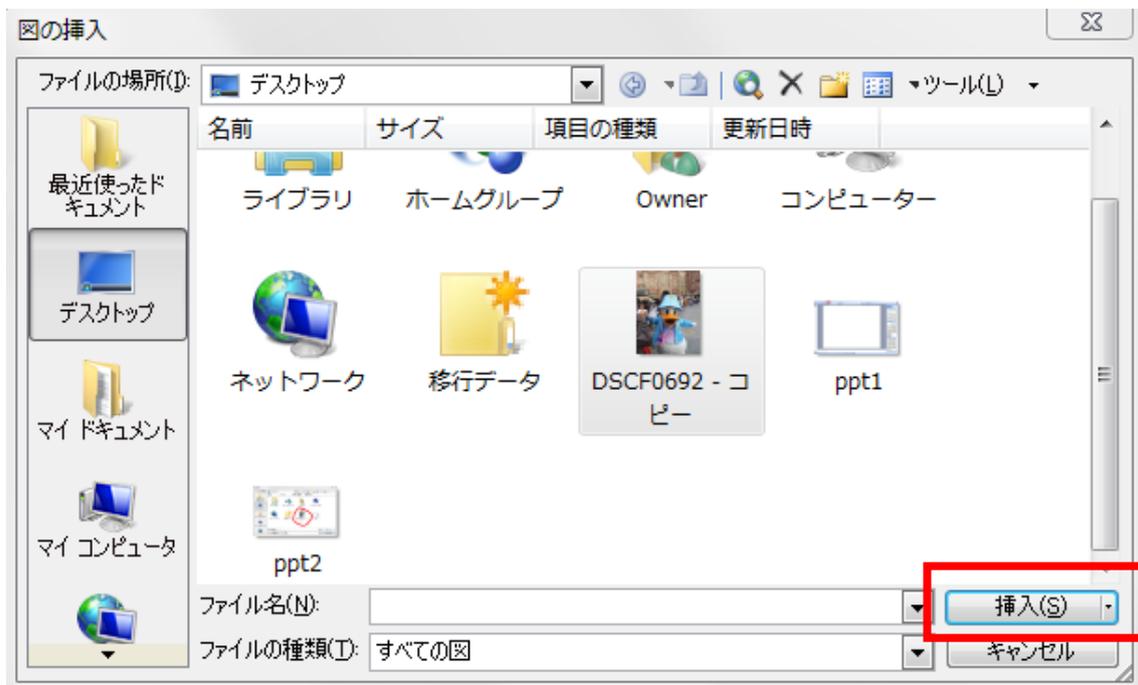
パワーポイントを立ち上げたら、「挿入」→「図」(P)→「ファイルから」(F)を選択します



するとファイルの選択を要求されますので、保存された場所から目的のファイルを選択します。



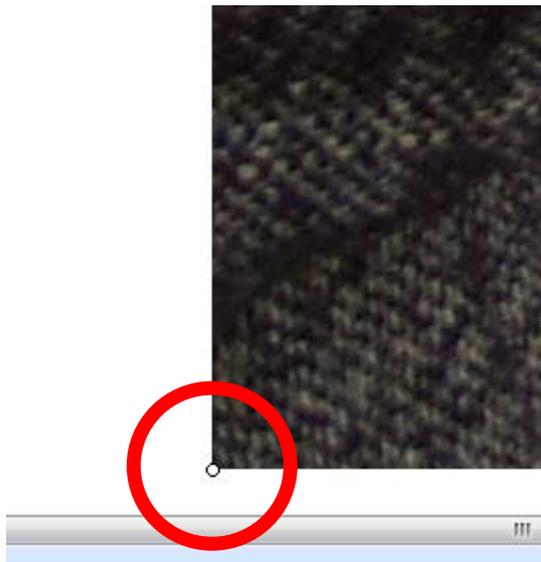
今回はこの赤で囲んだファイルを使用します。



目的のファイル選択したら「挿入」ボタンをクリックします。すると、



このようにスライドからはみ出るほどの大きさに画像が表示されます。
このままでは全体を表示できないので、写真の上でクリックをして「+」のカーソルを表示させます。
表示が出来たらクリックをしたままマウスを移動させて、写真の位置をずらしていきます。

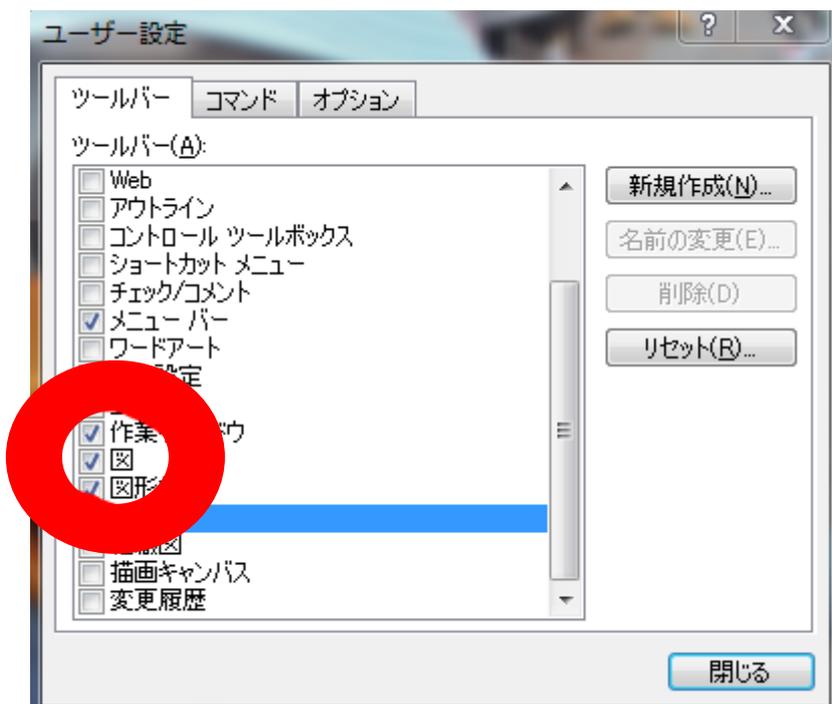


赤丸で囲んだポイントが見えたら、それにカーソルを合わせます。
すると、⇔が表示されるので、それを使って画像の縮小させていきます。

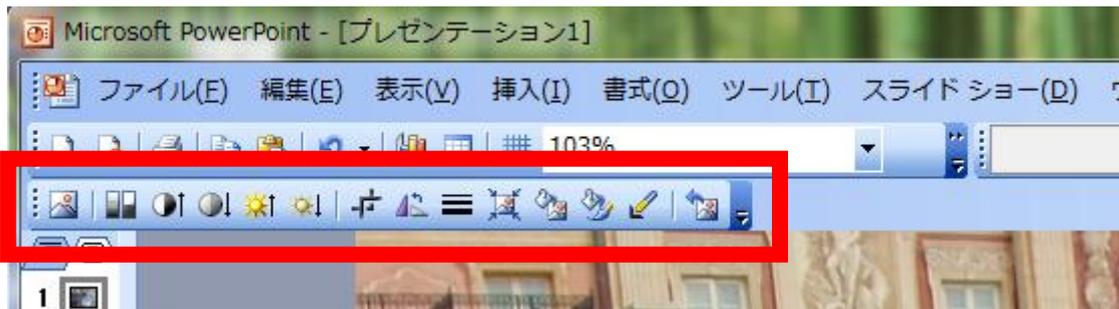


ある程度縮小し、上記のようにスライドとある程度の幅があてきたら、画像のトリミングをして必要な部分だけ表示させるようにします。

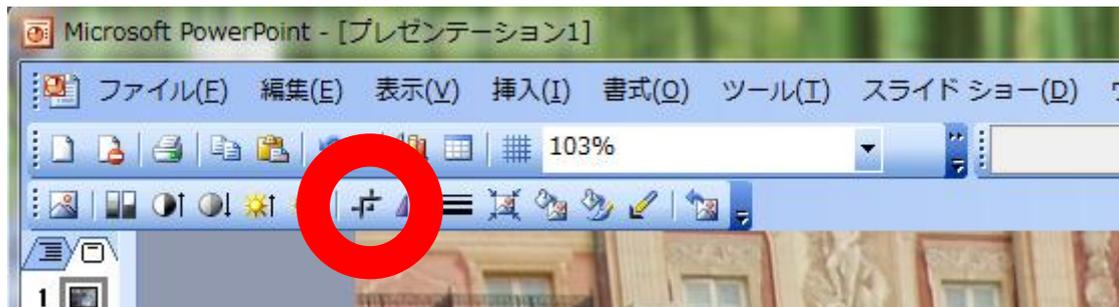
トリミングの方法はウインドウ上部の「ツール」から「ユーザー設定」に進みます。そこで次のようなウインドウが表示されます。



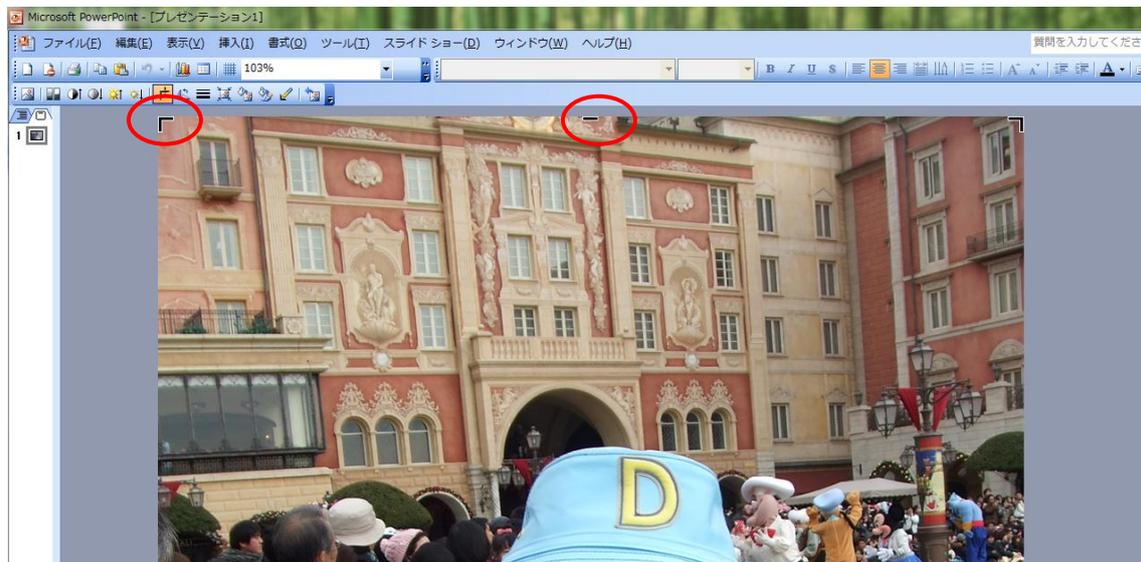
赤で囲んだように「図」というボックスのチェックを入れて「閉じる」をクリックします。



すると、赤枠で囲んだツールが表示されます。



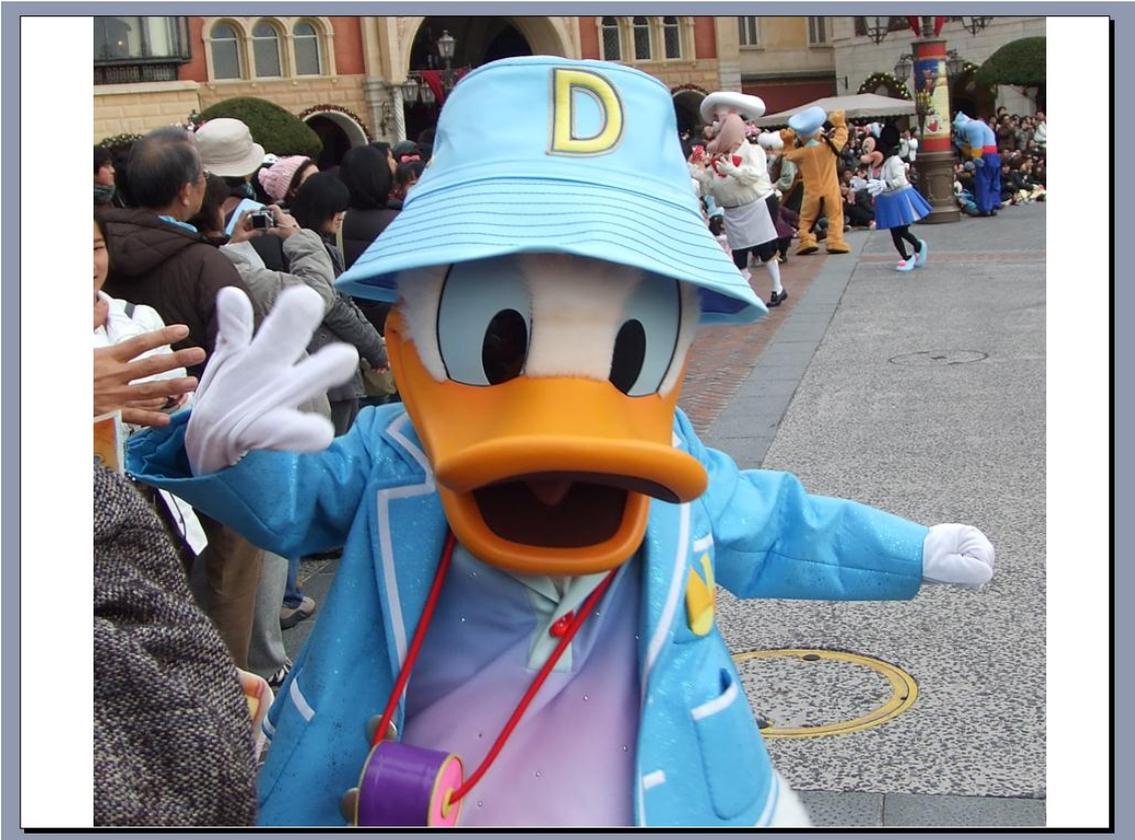
このツールバーから、赤丸で囲んだツールを選択します。



すると、画像の周囲に太い囲いが出来ます。

ここにカーソルを合わせてスライドすると、点線で表示されたラインで画像がカットされます。

これらを利用して適当な大きさにすると、



この様に、スライド内に画像が収まります。

2) 画像貼り付け時の注意

画像を貼り付ける際には、患者情報の漏出に最重点をおくことが重要であると考えられます。

おそらく画像の貼り付けを行う際は、画像検査や紙ベースの検査結果についてがメインになると思います。症例提示の際に個人情報を非公開にしても、ここでしっかり確認をしないと『もしもの時』に大変な事態を招いてしまいます。

患者情報の非表示方法ですが、簡単なものを3通り紹介させていただきます。

① 新規でソフトを購入できる場合

PHOTOSHOP をお持ちの方は、ブラシツール等を使用して塗りつぶしたり、上から文字を入力する等の方法で見えなくさせるのがよいと思いますが、ソフトが非常に高価なため金銭的余裕のある方だけにお勧めされます。

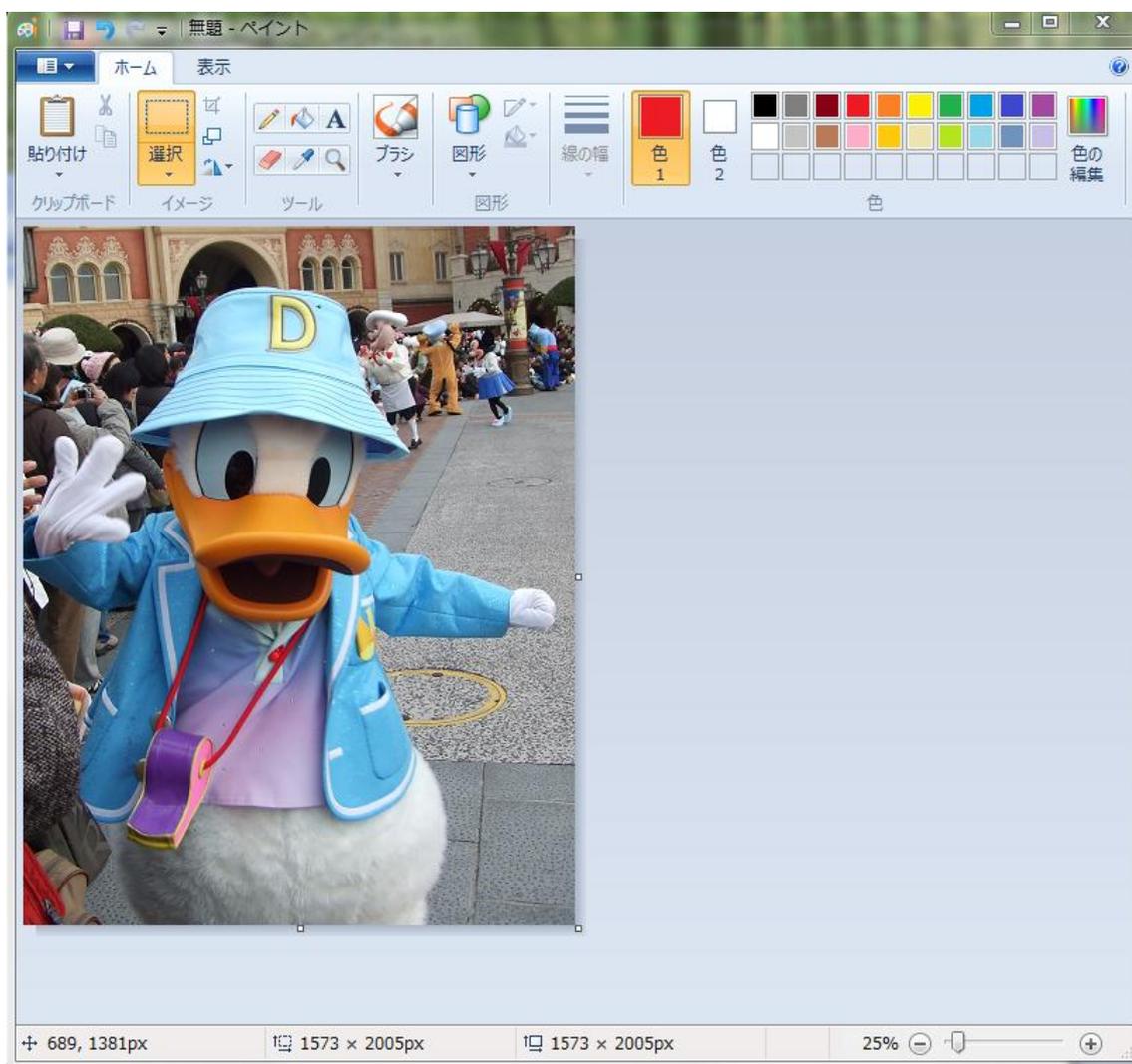
② パワーポイント内で処理を完結させる場合

画像の貼り付け方法で紹介したトリミング機能を使うことにより、純粹に描写画像の

みを抽出する方法は簡易的で金銭的負担も掛かりません。

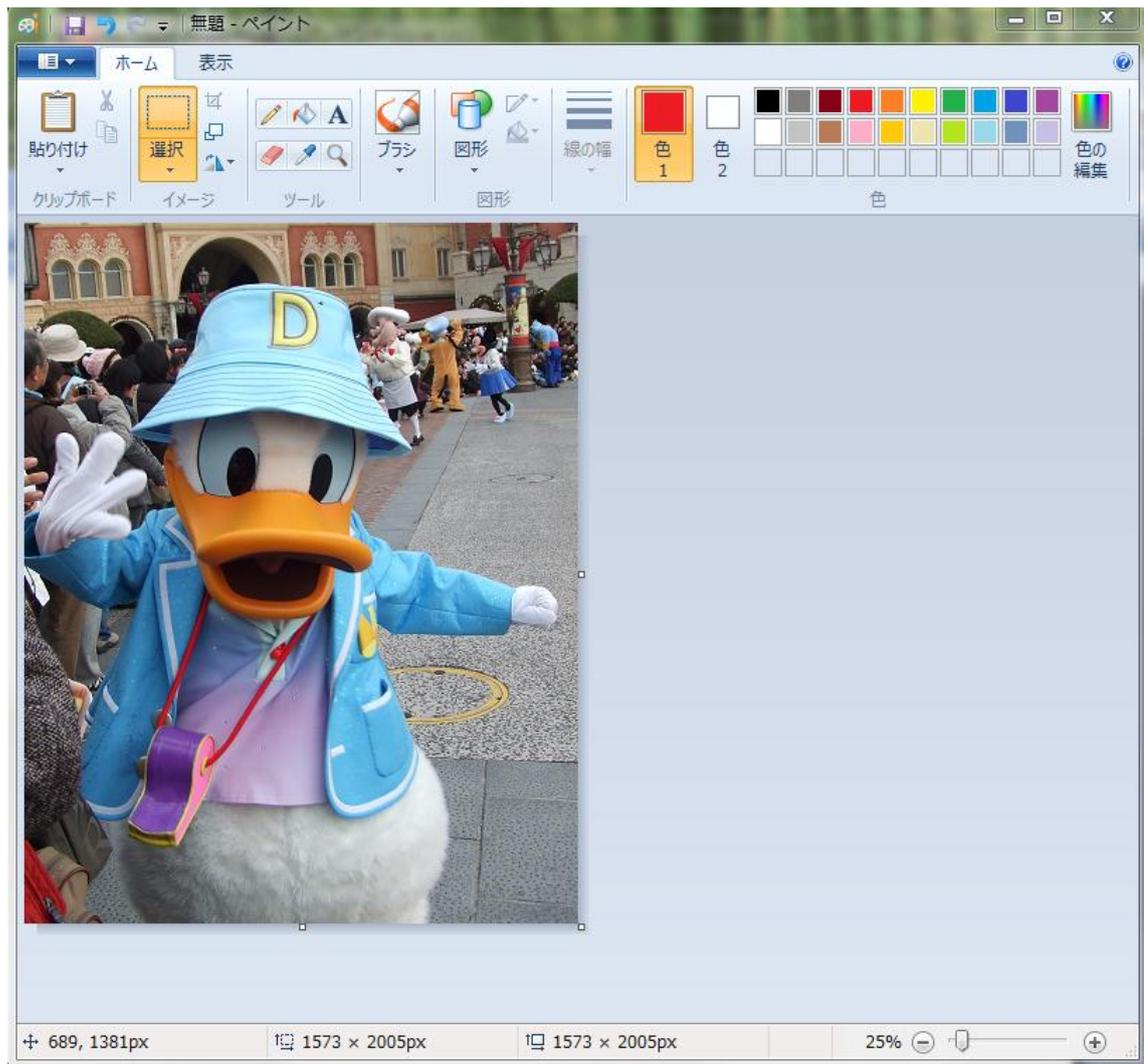
③ Windows 内にある別のソフトを使用する場合

アクセサリの中に入っている『ペイント』というソフトを使用すると、簡単に画像処理を行うことができます。

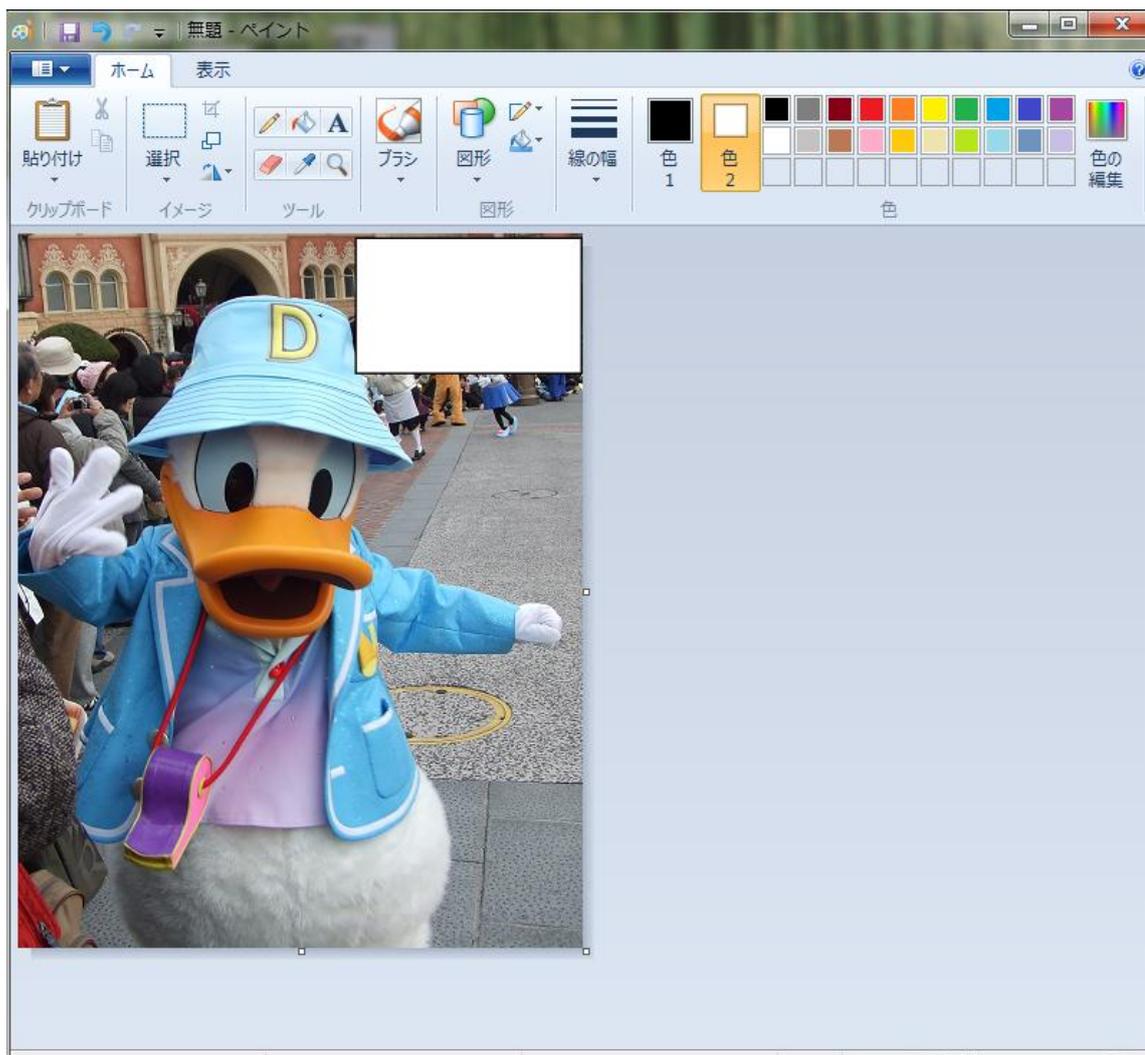


『ペイント』を開くとこのような画面が展開されます。

ここから、



『図形』を選択し、四角形を選びます。



削除すべき部分を選択するとこの様に塗りつぶすことができます。
この操作自体は、パワーポイント内の『オートシェイプ』でも同様なことが出来ます。

簡単に出来る方法を3点挙げさせていただきましたが、最も安全な方法は、最初から患者情報の入っていない画像を使用するのが望ましいかと思えます。

以上、画像の貼り付け方と注意事項でした。参考になりましたでしょうか？